

「ご挨拶」



牧師 森田幸男
(日本キリスト教会大阪北教会
元浪速教会「愛の家」運営委員長)

「愛隣が息づいている街」

◆私たち大阪北教会が大阪中之島公園で炊き出しを始めたのは2002年5月の事でした。今年5月で丸21年になります。きっかけは1995年1月17日の阪神淡路大震災です。崩れた被災地の教会で炊き出しを行い、その後西成愛隣地区の炊き出しに5年余参加しました。そんなある日、足許の中之島公園の東側半分がブルーシートでおおい尽くされている事に気づき、始めました。◆20年目最後の炊き出しは昨年12月21日の事でしたが、6歳の幼稚園児が両親に連れられ、神奈川県小田原から夜行バスで参加してくれました。教会での下ごしらえにも参加し、11時からの現地炊き出しでは、小さい手で70人を越える人々に一本一本バナナを手渡してくれました。炊き出し参加者最年少記録です。その後、Kさん親子は西成愛隣地区に向かわれました。◆思いもしない事が起こります。炊き出し20年目の大晦日12月31日(土)に久しぶりに西成愛隣地区に行きました。教会近くの領事館から電話があり、路上生活をしている21歳米国籍の青年を託されました。教会に来てもらい話を聞くと、カトリックだと分かったので、明日のミサに出られるといいと思い西成を訪ねました。そこで受け止めて下さった高齢の男性は「私は基督者ではありませんが」と言われましたが、私はその人から溢れ出る「愛隣」の手に彼を託し帰宅できました。◆年明けて炊き出し21年目最初の日1月25日(水)は、数日前から“10年に一度の大寒波・豪雪”のニュースが流れていましたが、いつものように行いました。午前6時のモーニング時も、本番11時の時もさすがに零下の冷えでしたが、雪はひとかけらも降りませんでした。そして「炊き出し」を終えた時、炊き出しの列に並ばれた兄弟たち皆の顔にはほほ笑みがありました。奉仕に与った私たちも寒さと疲れを忘れるほどでした。

「ご挨拶」



勸士 金仁姫
(在日大韓基督教会・関西地方教会
女性連合会会長・京都教会)

「あらゆる善い業に

満ちあふれるように」

今から7年前の2016年だったと思いますが、京都教会の女性会で愛の家に訪問したことがあります。食事の準備や特別讃美をさせていただき、恵みの時間を共にすることが出来ました。礼拝には多くの方が参加されていて、声高らかに献げる讃美、力強いメッセージ、祈りなど、主の御名によって集まった熱い集いことにも感激したことを今も覚えています。

私たちは一度だけでしたが、愛の家のスタッフの方々には長い間、毎日、多くのご奉仕をされていることに頭が下がります。本当にありがとうございます。

居場所がない方々、肉体的にも霊的にも弱っている方々のために主の愛を実践している「愛の家」のご奉仕の上に主の豊かな祝福がありますように。

関西地方教会女性連合会では、関西女性会に属している13教会242名の女性会会員のご協力を得て、毎年、「釜ヶ崎越冬支援及び義援金」の支援活動を行っています。個教会では秋頃から年末に向けて教会の信徒の方に声をかけて支援を呼びかけています。

コロナ禍において、教会での信徒の交わりや礼拝出席者も減っていて、特に小さい教会はより深刻だと思います。そのような状況の中でも、多くの教会で例年通りのご支援を頂き、嬉しい限りでした。

「神は、あなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分で、あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせることができになります(コリントⅡ9:8)」

主からいただいた豊かな恵みを神様が望まれる使うべき所に使うことが出来るように。「愛の家」の豊かな善い業により私たちもそのあふれる恵みを体験することが出来ることを心より感謝します。

これからも愛の家のご奉仕のためにお祈りを続けていきたいと思ひます。



木曜・お弁当と御言葉メッセージ配り

先月、3年振りに韓国からの宣教チームが来られ、おにぎり作りを手伝っていただきました。その日はいつものスタッフの一人が来れなくて人手が足りなくて大変でしたが、ちょうど8人の宣教チームが来られてとても助かりました。神様は炊き出しをととても喜ばれ、いつも必要な奉仕者を送ってくださいます。ハレルヤ！ 近頃は温かくなったのでお弁当を配る私達も、受け取る皆さんも晴ればれな気持ちで笑顔が絶えません。ある木曜日には230個のお弁当を作り、228人がお弁当を受け取りに来られてほぼピッタシの数字でした。ちょうどよい数を準備できるように知恵を下された神様に感謝を捧げます。



金曜・おにぎりとおみそ汁配り

去年の8月からは「おにぎりとカップ麺」から「おにぎりと味噌汁」に変わったので一時的に炊き出しに来られる人数が減りました。しかし、冬になってどんどん寒くなると温かいみそ汁の人气が高まり、人数も増え、ほとんどの方がおかわりをしています。だから150人が来られる事を予測するとおかわりの分まで考えて200人分のみそ汁を作らなければなりません。私たちの料理長池西さんはおいしくて栄養満点のみそ汁を作るためにいつも心を込めています。そのお陰でみそ汁の評判がとても良いです。ある金曜日にはたくさんの方が「おいしいですね。ご馳走様でした」とおっしゃってください嬉しかったです。誰よりも料理長の池西さんの顔に微笑みが浮かびました。72歳の池西さんがいつまでも元気で奉仕ができますように、また彼の跡継ぎの料理人が現れますようにお祈りをお願いします。



クリスマスに洗礼を受けた二人の兄弟

昨年の受洗者は2人でした。二人とも炊き出しの常連さんです。

木場さんは去年の11月に高血圧で2回も救急車で運ばれたことがあり、自分がいつどうなるかわからないので一日でも早く洗礼を受けたいとおっしゃいました。自ら洗礼者教育に参加し、4回の勉強を終え、クリスマス日に洗礼を受けました。

もう一人の鬼丸さんはお酒が好きな方です。毎月生活保護費を受け取ったらまずお酒を飲み、気持ちよさそうな姿で袋いっぱいにおみやげを買って私達スタッフに差し入れてくれるお方です。その袋の中にはあたたかいコーヒー、サンドイッチ、お餅、果物など色々なおいしい食べ物が入っています。それだけではありません。足が弱いお年寄りなのに大きなビニール靴いっぱいアルミ缶を集めて持ってきてくださいます。多分夜通しあっちこっち歩きながら一個一個集めたと思います。私たちは皆感動を受け、励まされるのです。もらうだけで済むのではなく、分け与える事ができる素晴らしい鬼丸さんが洗礼を受け、神の家族になってとても嬉しいし力になっています。



奉仕者の声

『浪速教会「愛の家」に導かれて』

岡田 修一兄弟

(救世軍西成小隊、
浪速教会「愛の家」ボランティア)

私が西成愛隣地区に来て、25年以上が過ぎました。公園に登山テントを張って2年、生活をした事もありました。

まず、キリスト教会との出会いから話さなければならぬと思います。宗教そのものに対して否定的な立場にいる無神論者、これが私の生きてきた人生観であり、「イエス様の説かれた隣人愛見返りを求めない無償の愛、そんなものは偽善であり、人間には不可能なことである。」そのような考えで人生を生きてきました。生まれて初めて教会堂に入ったのも西成に来てからでした。「そこで食事が提供される」と人に誘われて入りました。教会に入り集会に参加すると、4-5曲の賛美が歌われ、牧師先生の説教を聞きました。私には絵空事のように聞こえました。

「マルクスは、宗教はアヘンであり、理の現実認識を歪める」そんな言葉を思い出していました。しかし、生活に困った私は西成の炊き出しを行っている教会に顔を出すようになりました。

「音楽を伴奏できる人はいませんか」と牧師



先生から言葉をかけられて手伝い始めました。これが教会と深く関わりを持つきっかけになりました。そこで多くの韓国人牧師とも交わることができ、最初の10年間は、週に5回から8回程度の伝道集会に参加しました。

浪速教会と出会って、約20年位になっていると思います。現在、炊き出しを行っている西成公園で、ある日、歯を磨いていると、集まっている人たちが並んで整理券をもらって公園を出て行きます。私も最後の列に並んで券をもらいみんなに付いていきました。それが現在の教会ではなく、小さな町工場の空き家を教会にした前の教会でした。ホームレスの人、愛隣地区の日雇い労働者が中心です。そして、その後、公園の炊き出しに並んでいま

すと「散髪奉仕を手伝ってくれる人はいませんか？」と声をかけられて「手伝います」と答えたのが浪速教会の奉仕の始まりでした。そして神様に導かれて賛美の伴奏の活動も始まりました。その頃、5つの教会の伴奏を受け持っていました。

コロナウィルスによって3年間、浪速教会では伝道集会が中止され、聖書の御言葉、イエス様の愛を伝える時間が少なくなって参りました。イエス様は言われました。「私の兄弟であるこの最も小さいもの1人にしたのは私にしてくれたことなのである。」

この言葉は、キリスト者にとってイエス様の命令に近いものがあります。浪速教会の金鐘



賢牧師と姜貞淑夫人のキリストへの献身は、キリスト者の生き様を、私に教えて下さいました。キリスト伝道のために人生をかけられた人達、又、西成伝道に尽くされた救世軍西成小隊の立石達成、貴美子少佐(現在閉館中)、今は亡くなられた「二十一世紀イエスキリスト宣教教会」の古賀邦男牧師の導きによって、今の私があると思っています。神様は、多くの人々を通して私を導いて下さったのです。

私達は月の様な者です。太陽であるイエス様に顔を向け仰ぐことによって、私たちは輝くことができるのです。イエス様が置かれたその場所でイエス様に似った愛の花を咲かせろ。私たちは西成地区に蒔かれた小さな草花かもしれません。しかしそれがキリスト者の生き方ではないでしょうか。浪速教会では毎週木曜日、金曜日の炊き出しそして日曜礼拝に来た生活保護を受けている兄弟姉妹たちに手作りのお弁当を持って帰ってもらっています。この費用はやはり大きな負担です。この西成地区にイエス様の救い、イエス様の愛を伝える教会として、神様は浪速教会をこの地に植えられました。

コロナ禍が終息しつつある現在、伝道集会も再会されようとしています。

多くの西成の仲間が教会に集い、賛美と喜びにあふれる礼拝がまた始まります。これは大いなるリバイバルの開始の合図ではないでしょうか。神様の大いなる祝福と恵みが浪速教会の上にありますように。アーメン

特集 「愛の家」の恩人⑬

池西 義照 名誉執事

(浪速教会信徒・浪速教会 厨房料理長)

神様は今日に至るまで、私達浪速教会「愛の家」の働きを、御手を持って守り導いて下さいました。私達の炊き出しは25年間続けられています。週3回（コロナ禍では2回に縮小）の炊き出しに100人～250人参加しています。

食事を求めて来る多くの方々を食べさせるために一番苦勞しているのは厨房で働く料理人です。池西兄弟は、元々料理人として海外の日本外交官の料理を担当していた事もある料理の職人（シェフ）でした。しかし、家族から離れて海外で働き、いざ家に帰って来たら家族がいなくなっていました。離婚され家族から離されてしまいました。持っていたお金を使い果たしてどん底に落ちました。ホームレスの生活を余儀なくされていた時、浪速教会の炊き出しに来て、御言葉を聞きイエス様を信じる様になりました。彼はキリスト教会に関心を持ち、仕事をして得たお金で聖書を買いました。それを聞いて私と家内は彼に「浪速教会で料理の奉仕をして下さいませんか？」声をかけました。彼は喜んで答えてくれて、浪速教会で一番長く料理人として奉仕をして来ました。2010年から13年間、真夏にはとても暑い厨房で美味しい料理を作って西成の兄弟姉妹たちに仕えて来ました。

池西兄弟のお陰で「浪速教会の食事は最高！美味しい！」みんなに好評を得る様になりました。

2019年から始まったコロナ禍の中で私達の炊き出しは形を変えて教会での集会をやめて木曜炊き出しにはお弁当を配るようになり、厨房の仕事が最も重くなりました。最近の多い時は250人が炊き出しに参加します。150人分のお弁当を作るにしても、250人分のお弁当を作るにしても同じく栄養や色、ボリュームを考えて心を込めて作っています。毎週月曜日は教会のスタッフの休みの日です。しかし、3月13日月曜日、池西兄弟が来て一人で3-4時間働いているから私が「今日は月曜日ですので休みなさい。」と勧めました。しかし彼は「木曜弁当のため今日仕込みしておかないと間に合わない」と言いました。

彼は料理の奉仕だけでなく教会の運転手として信徒の送迎、集められたアルミ缶・段ボールを売りに行く奉仕をもしています。池西兄弟は浪速教会になくてはならない大切な奉仕者です。いつも心を込めて神様や主の愛する兄弟姉妹に献身している姿にここには綴りきれないほどの想いと感謝を覚えます。



「愛の家」会計決算報告書(2022.11.1-12.31)

収入	22 予算	2022.1-12
定期後援会	800,000	597,005
一般後援会	1,400,000	1,836,912
クリスマス献金	1,400,000	1,485,690
食事献金	100,000	0
總會支援金	200,000	200,000
地方会支援金	450,000	420,000
御米献金	100,000	83,000
小計	4,450,000	4,622,607
繰越金	1,104,952	1,104,952
合計	5,554,952	5,727,559

支出	22 予算	2022.1-12
事務・備品・印刷費	350,000	152,809
発送費	100,000	67,730
交通費	10,000	0
車両維持費	200,000	10,800
奉仕者支援金	400,000	75,000
研修費	100,000	0
御米代	500,000	485,700
副食費	2,500,000	1,755,083
建築積立金	1,000,000	1,000,000
救済費	50,000	2,335
修理施設費・予備費	344,952	45,173
小計	5,554,952	3,594,630
繰越金	-	2,132,929
合計	5,554,952	5,727,559

「愛の家」会計中間報告書(2023.1.1-2.28)

収入	23 予算	2023.1-2
定期後援会	600,000	68,000
一般後援会	1,900,000	473,000
クリスマス献金	1,500,000	315,241
食事献金	0	0
總會支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	70,000
御米献金	100,000	5,000
小計	4,720,000	1,131,241
繰越金	2,132,929	2,132,929
合計	6,852,929	3,264,170

支出	23 予算	2023.1-2
事務・備品・印刷費	250,000	4,162
発送費	100,000	8,400
交通費	10,000	1,740
車両維持費	100,000	0
奉仕者支援金	200,000	0
研修費	100,000	0
御米代	500,000	80,000
副食費	1,800,000	255,739
建築積立金	1,000,000	1,000,000
救済費	50,000	0
修理施設費・予備費	2,742,929	6,600
小計	6,852,929	1,356,641
繰越金	-	1,907,529
合計	6,852,929	3,264,170



路上生活者支援のための 献金のお願い



春の訪れと共に、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。前号を通してクリスマス献金をたくさんの方々から祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまがお献げくださったクリスマス献金は、路上生活者の支援のために用いさせていただきます。

コロナ禍で毎日不安や恐れ、孤独の中で生活を余儀なくされている方々、また生活の基盤である職や居場所を失った方々も大勢いらっしゃいます。その方々が「愛の家」の炊き出しに参加してお弁当配りという細やかな交わりの時間を通して心に神様の光が灯され、もう一度希望を持って歩まれることを切に願います。今年も皆が無事に新緑の季節を迎えられますようにお祈りください。また一人でも多くの西成の仲間が、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心へと導かれますよう、お祈りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に2回行っております。(通常は週に3回ですが、新型コロナウイルス感染予防のために2回に変更しています。)木曜炊き出し(み言葉メッセージ入りお弁当)には常時160~200人、金曜炊き出し(お握りと**お味噌汁**)には約160人~220人の路上生活者へ食事の提供とみ言葉のメッセージをお渡しすることができました。この炊き出しの実際の経費として、毎週63,000円を支出しております。(内訳概算お米60kg・18,000円、副食費45,000円、コロナ前の経費合計は約57,000円)

これからも神様の愛の業に励むことができますように、浪速教会「愛の家」の活動にご理解、ご協力頂き、また献金をおささげくださいますようお願い申し上げます。

「愛の家」事業：木曜・金曜炊き出し(木曜集会&日曜礼拝と食事提供、夜間パトロールは現在休止中)、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、生活用品収集分配

2023年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞆、タオル、カイロ、食材、お米を送って下さい(古着のスーツ類の需要は少ないです)

献金振込先(ゆうちょ銀行)

金融機関コード：9900 店番：99 預金種目：当座
店名：〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 口座番号：299392
口座名：在日大韓基督教会浪速教会

〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2023年4月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

牧師 金鐘賢

献金者お名前(敬称略・順不同)
(2022年11月1日～2023年2月28日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル、
グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、大阪東南
キリスト教会、在日大韓基督教会総会、在日大韓基
督教会関西地方会、石井洋二、ブロックソム泰子、
朴栄子、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正
典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、
匿名

一般後援金

小倉教会、神戸布引教会、宮澤玲子、徳山愛子、
長澤愛子、森明子、野津道代、神野幸子、呉永錫、
ユ・サンジュ、匿名

クリスマス献金

大阪教会女性会、西部地方教会女性連合会、神戸
東部教会、大垣教会、盤石教会、広島教会女性会、
武庫川教会、折尾教会、神戸教会、大阪西成教会、
広島教会、豊中第一復興教会、布施教会、関西地
方教会女性連合会、福岡中央教会、京都教会、
博多教会、川西教会、名古屋教会、京都南部教会、
西新井教会、京都教会、博多教会、大阪東南キリス
ト教会、荻窪北教会、名東教会、大垣教会、大阪姫
松教会、福岡城南教会、南浦和教会、伊達教会、
大垣教会、大垣荒尾教会、池田教会、西宮中央教
会、旭川教会、滝川教会、横浜海岸教会、都島教会
横須賀教会、吉田教会「教会と社会委員会」、草加
教会、日土教会、大和郡山教会、重松貿易株式会
社、船尾土曜学校、JCM 藤田桂子
岩坂二規、寺岡洋子、武井三枝子、河内常男、梁漢
順、山本覚、李恩順、金森俊徳、久保安子、金龍玉
木村敏子、梨原ひろ子、ユ・サンジュン、清水眞一・
佐代子、佐藤栄一、栗田英昭、

お米、お米献金

洲本チャペル、京都教会女性会、宮澤玲子、
井上久夫、韓享春、松尾保司、ぐるり農園、匿名

食材

フードバンク大阪、
フードバンク関西、
ぐるり農園、清水眞一・佐代子、李承厚

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町の皆さん

衣類、靴、鞆、生活用品、ふとん類、マスク

グッド・サマリタン・チャーチ、女子ご受難会、松井明
美、白川美愛、寺岡洋子

感謝

いつも ありがとう

「愛の家」の人々

以前にも記載したかもしれませんが、「愛の家」の多くのおじさん、おじいさんたちはとても優しく印象があります。その秘訣をご存知でしょうか？それはニコッと笑うとよく分かります。路上生活をされた方の殆どの方々が自前の歯を失くしてしまうのです。考えてみれば路上生活を余儀なくされるほど、今日のご飯が食べられるのかどうかも分からないほどお金に困っているし、ある人はお酒に吞まれて意識を失ってしまう生活をしているので歯磨き、または歯ブラシどころではないようです。そして「愛の家」で金先生のお手伝いで住まいを得て年金受給を復活させたり、生活保護受給ができて安定した生活ができるようになると入れ歯を作る人もいます(又は元々入れ歯を持っていて使っていなかった人もいます)。試しに装着してみると・・・あらま、口や頬のあたりの筋肉が持ち上がり若返ります。しかし別人のようで本人も周りも恥ずかしくなってしまう・・・という愉快的場面が何回かありました。そして入れ歯は使わずにそのまま再び引き出しへと戻っていくのです。歯がないと自然と歯茎がつよくなるのか、肉でもお煎餅でも何とかして食べようとします。不思議なのは歯が抜け落ちるまでの経過で歯が痛くなかったのかな？ということです。未だに誰にも聞いたことはありませんが・・・。

マスク着用が緩和されつつあるこれからはこのような愉快的場面を通して笑って楽しく過ごしていきたいですね。また「愛の家」炊き出しの見学を希望される方はご連絡ください。一緒にお弁当やお握りの配布をしてみませんか？



発行責任者 金鐘賢

〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org

郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会

00930-0-299392